

株式会社テレビ神奈川

2025年 年頭挨拶
代表取締役社長 熊谷典和

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします

さて昨年は何と云っても26年ぶりの横浜DeNAベイスターズの優勝、そして イースタンリーグも42年ぶりの優勝を果たしたことで、神奈川県内はもちろんのこと、全国で大きな盛り上がりを見せてくれました。

スポーツライター二宮寿朗さんの書籍「ベイスターズ再建録」には、横浜DeNA ベイスターズが「地元愛」と「強さ」の両輪を兼ね備えた球団になるべく、歩んできた道のりが記されています。そしてそこには「継承と革新」というマインドが、重要なキーワードとしてあげられています。

tvkがこのたびの優勝に際して制作した『CS優勝特番』『日本一優勝特番』そして『優勝パレード』の生中継は、多くの方にテレビで視聴いただけただけでなく、配信でもトータルでのべ46万人以上の方にご視聴いただき、パレードは生中継の 告知をさせていただいた旧ツイッターXのインプレッション数は41万を超える数となりました。それは横浜DeNAベイスターズ優勝の喜びと同時に、私たちにとって、まさに視聴者の皆様や県民の皆様からの期待を存分に感じる事ができた瞬間でもありました。そのベイスターズファンの皆様の、tvkに対する期待度の表れが、開局以来 いかなる時も、地元球団大洋ホエールズ時代から応援し続けてきたマインドの「継承」の証です。

そして、若者のテレビ離れの傾向が進んでいるといわれる中で、良質なコンテンツはいかなる環境でも、テレビのみならずあらゆるデバイスで、県内のみならず全国の皆様に視聴いただける機会があるということも実感することができました。まさに横浜DeNAベイスターズの優勝は、tvkグループにとっても「お役に立つテレビ局」「なくてはならないテレビ局」としての大きな気付きを与えてくれました。

私たちには番組コンテンツ以外にも、2日間で32万人以上の方にお越しいただいた「かながわMIRAIストリート」をはじめとするイベント、昨年開場50周年を迎えることができた「tvkハウジングプラザ横浜」や「ヨコハマくらし館」そして年間14万人以上の方に来園いただいている「横浜イングリッシュガーデン」など、県民の皆様「何かのきっかけや機会」をお届けできるコンテンツがあります。

そして社員一人一人の強みや繋がりもtvkグループにとって大きな財産となります。時代が不透明、また私たちの業界を取り巻く環境が厳しいといわれて久しいですが、大切なのは、それら私たちの持つコンテンツや財産を継承しながら、革新させ、そして発展させていく社員一人一人の意識です。

本年の干支「巳」は、新しい挑戦や変革にふさわしい年とされています。常日頃から社内で申し上げている、人を巻き込むコミュニケーション力、周りに無関心にならないことで成長するプロデュース力、独りよがりにならない提案力、そして本年の巳年にちなんで、柔軟な発想力をもって、本年も私たちの存在意義「お役に立つテレビ局」「なくてはならないテレビ局」を継承、そして革新させ、発展させていきたいと思ひます。